



とっぱずれ



銚子東ロータリー・クラブ Weekly Bulletin NO. 1842



「昇龍会」の旗 提供：宮内宗一会員

第1842回 例会 平成21年12月8日

点 鐘 … 狩野 勉 会長

ロータリーソング … 我等の生業

来訪ロータリアン紹介

… 親睦活動・家族委員会

会長挨拶 … 狩野 勉 会長

御祝披露 … 狩野 勉 会長

誕生祝 … なし

結婚記念日 … 関根 輝男 会員(12月2日)

鈴木 宏政 会員(12月3日)

入会記念日 … なし

幹事報告 … 吉田 孝至 幹事

ニコニコBOX … 親睦活動・家族委員会

年次総会

出席報告 … 出席・プログラム委員会

来週のプログラム(平成21年12月15日)

卓話

「新年に向けて」 宮内 勝利 会員

お食事「やまごや」



ロータリーの未来はあなたの手の中に

2009～2010年度 RI 会長 ジョン・ケニー (John Kenny)



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実かどうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるかどうか

第 1841 回例会(平成 21 年 12 月 1 日)

会長挨拶

狩野 勉

先週 11 月 24 日に中村博亘ガバナー公式訪問の銚子 RC との合同例会・クラブ協議会が無事終了しました。ご協力ありがとうございました。

また、11 月 17 日には第 7 分区第 3 回会長幹事会が、八日市場の柿岡屋でありました。井上ガバナー補佐の挨拶・報告、各クラブからの報告があり、議事に入りました。①ガバナー公式訪問の件、②RYLA 実行委員に本クラブの宮内勝利会員が選出された件、③次年度役員の内、地区ガバナーノミニーは木更津 RC の山田修平氏、第 7 分区ガバナー補佐に旭 RC の小関邦夫氏が選出され、分区幹事や各クラブの会長・幹事予定者の報告、④IM を 2010 年 2 月 14 日(日)に旭市のヒューマンプラザ黄鶴で、テーマ「ロータリーの未来はあなたの手の中に」で開催する。各クラブから意見発表者を出す件、⑤分区ゴルフ大会を 2010 年 5 月 13 日(木)に東庄ゴルフクラブで開催予定、⑥第 7 分区の社会奉仕懇談会を銚子クラブが担当し、2010 年 3 月 4 日に千葉科学大学で開催予定、等が協議され、引き続き懇親会を行いました。

25 日には駅前花壇の花の植え替えに参加してきました。インフルエンザのために大学のクラブ活動が休止されていまして、アクトメンバーは参加できませんでしたが、銚子 RC の皆さんにお世話をしていただきました。

12 月はロータリー家族月間です。1995-96 年度ハーバード・ブラウン RI 会長は、世界平和は地域、家族から始まるとの考えを表明しました。そして、1995 年 11 月の RI 理事会において、2 月の第 2 週を「家族週間」と指定することになりましたが、2003 年 7 月において、2003-04 年度ジョナサン・マジリアベ RI 会長が、家族の重要性を主眼としたことを称え、12 月を「家族月間」と指定しました。2004 年 3 月 27 日にサンパウロで開催された「ロータリー家族」と題する RI 会長主催祝賀会議の基調講演の中で、マジリアベ RI 会長が「もし、ロータリアンがそれぞれのクラブ内に温かい家族的な雰囲気育て、その雰囲気を友人や親せき、職場の同僚、出会うすべての人々に浸透させていけば、新しい会員を引きつけ、そして紛争に苦しむ世界を改善することができます。」と述べたことによります。これに伴って「家族週間」は廃止されました。

12 月 22 日は恒例のニュー大新での年末家族親睦会です。皆さん大いに楽しみましょう。

幹事報告

- 1・ガバナー事務所より
・公式訪問のお礼状
・ロータリーカード入会のお祝い
・2010 年モントリオール国際大会参加旅行のご案内
受領
 - 2・銚子市交通安全都市推進協議会より
平成 21 年度冬の交通安全実施要綱の送付について
受領
 - 3・例会変更のお知らせ
銚子 RC より
12/16(水) 点鐘 6:00 「キャルネドサントウール」
クリスマス家族親睦会の為
12/23(水) 祝日の為休会
12/30(水) 年末の為休会
受領
- ☆週報受領 銚子 RC

卓話

「陸軍船舶特幹隊の回顧」

宮内 宗一 会員

今頃なんで昔の軍隊の話なんかするのと思われるでしょうが、きっかけは私が加入していました船舶特幹二期生会の解散と、もう一つは豊浜幹候隊への転属するまでの間 5 ヶ月間に渡り特別教育を受けた 2 期生 39 名の教育隊別名昇龍会の解散等、80 才を過ぎた今、参加者が年々少なくなつての二つの戦友会の解散をきっかけに、約 64 年前元陸軍船舶特別幹部候補生として参加した少年兵のお話を知っていただけたらと、貴重な卓話の時間をいただきお話をさせていただきますこと有難うございます。



太平洋戦争も長期化し烈しく消耗されている初級現役幹部(下士官)を短期間に養成補充する目的で、昭和 18 年 12 月勅令によって特別幹部候補生制度が新設されました。この新制度の特幹候補生は大きく分けて航空特幹と船舶特幹の二つでした。

昭和 19 年 2 月に試験、4 月採用予定ということで、全国各地において採用試験が行われました。受験資格は大正 13 年 4 月から昭和 4 年 3 月までに生まれた者が対象で 14 才から 19 才でした。全国で 25,000 人が受験、3,800 人が合格しました。競争率は 6 倍強ということです。

私も昭和 18 年 12 月銚商 32 回生として 3 ヶ月繰り上げ

卒業し、翌年1月より勤めておりました興野国民学校助教在任のまま受験、合格しましたが試験に合格した3,800名の内、選抜方法はわかりませんが2,000名が一期生、私は二期生となり、19年8月まで学校に勤務し、9月5日銚子駅頭にて学校の教え子、男女100人の皆さんに見送られ千葉経由宇野に集結、小豆島の陸軍船舶特別幹部候補生隊、別称若潮部隊第2940部隊に入隊しました。訓練地小豆島は白砂青松の景勝地であり、ここに住む人達は情厚く我々少年兵を温かく迎えてくれました。

特幹候補生は普通兵の扱いではなく、入隊時すぐ星二つの一等兵、半年ごとに進級するという厚遇で、胸に船舶記章、衿に幹部候補生の座金をつけ、海軍の予科練と競合する若者を引きつける服装でした。

昭和19年9月10日入隊式終了後まず4ヶ月の訓練が始まりました。学科、上陸用舟艇の大発の操縦訓練、機関学科は毎日みっちりやりました。おかげで私は復員後、親の魚の仲買商を継がず、伯父の機関修理屋の手伝いをするうち、いつしか鍛冶屋になり現在の鉄工所経営に至りました。これも特幹隊との御縁かなと感謝しております。

毎日の訓練は機関の分解組立、手旗信号、発光信号、船の操縦は大発が主として行われ特にきびしかったです。大発は自重9.7トン武装兵90人は運べました。軽戦車一両積み周囲に兵隊を60人立たせ運ぶのが一つの形でした。思い出の一つとして特幹隊入隊後しばらくの間、毎日軍歌演習が行われました。夕日をあびながら「船舶特幹生の歌」を営庭に出て思い切り歌いました。

『捨てて甲斐ある我が命 君のおん為 国の為
若いこの身を捧げんと集い來たれる我が身なり
我らは特幹候補生』

歌いながら故郷を思うわけでなく、なにか緊迫感からか涙がポロポロ出た思い出があります。他の隊員全部に目には光るものがありました。

4月に入隊した一期生は4ヶ月の訓練を経て、昭和19年8月25日特別幹部候補生隊の課程を修了し、大部分(約90%強)が特攻隊である海上挺身隊の要員となり、小豆島の隣の豊島及び江田島の幸の浦において猛訓練の後、フィリピン、沖縄、台湾に出陣し、その特攻艇を駆って勇戦奮闘1,700人の内1,200人が戦死という悲惨な結果となりました。船舶兵は陸軍の兵員物資輸送は陸軍の手で行うという目的があり、特幹は現役下士官の短期間養成が最初の発想であって、特攻隊にという考えはなかったといわれております。

試験は一期生と同時に終われながら、5ヶ月遅れで入隊した我々二期生の生死は紙一重でした。特攻艇は四式肉薄攻撃艇、普通は①マルレ、あるいは②連絡艇③と呼ばれました。これを装備した特攻隊は海上挺身隊と命名されました。特攻といえば爆弾を積んだ飛行機ごと敵空母戦艦に体当たりした航空特攻を連想するでしょうが、陸運海上挺身隊の④、ベニヤ製、自動車エンジン搭載の海

軍の震洋と同じですが、爆雷(250K)を④は艇尾に装置してあり、一人乗りで爆雷を落とし急転舵する様指示があれど、大部分は直進し体当たりして消えて行きました。

フィリピンでは米軍は最初の攻撃であり、防護策が出来ておらず、かなりの被害(米側発表16隻)を出したのですが、彼らはすぐ防御策を考え出しました。それは船団の周囲にラワンの木材をつないで囲んだのです。その他、船団の周辺を魚雷艇や警備艇が厳しく監視する、この戦術をとられたことで④の力を発揮できなくなりました。又、艦砲射撃の方法も今までと変わり、これまでほとんど無視していた海岸線に砲火を集中し、特攻艇が海岸の壕に隠匿してあるのを見抜かれたのです。

一期生の大部分が海上挺身隊に編成されたのと異なり、二期生は士官を目指す甲種幹部候補生に採用された我々39名を除いて、船舶工兵、船舶整備、海上駆逐、潜水輸送、船舶通信等の各隊に転じ訓練を受けた。然し、やがて戦局が緊迫し、各隊より二期生全員の60%が海上挺身隊の要因として訓練を受け、7月中旬に内地防衛の第一線に配属されました。

我々甲種幹部候補生39名は昇龍隊という名のもと特幹若潮部隊の中で5ヶ月特別教育を受け、5月に部隊長より1番から39番の成績をと



れと激励を受け、香川県豊浜の陸軍船舶幹部候補生隊に13期生として入隊しました。正式呼称は「第13期兵科甲種幹部候補生船舶兵科」です。最後の船舶候補生です。

一期生が主であった挺身隊はフィリピンに30個戦隊本土決戦用に二期生を主として13個戦隊編成され、一個戦隊は100隻特攻要員として配置されました。④は昭和19年8月以降12月までの間に3,000隻が建造され、その後本土防衛用に2,000隻が追加建造されましたが、失われた④は1,300隻に上ると言われています。

船舶特幹隊は私共が二期生であり、三期生、四期生と続いて訓練に励んで居りました。二期生は実戦に出ませんでしたが、8月6日広島に原爆が投下され、船舶司令部のある宇品が全滅、広島も跡形もない状態に対し、瀬戸内海に面した全船舶部隊が救援活動に入り大活躍をしました。これが最後の戦いだっただと思います。

ともかく日本の国家存亡のとき、14才から19才の若者が学業半ばにして小豆島に集い、国を守ろうと命をかけた戦争参加、たった1年の軍隊生活でしたが特幹隊の特殊な訓練、きびしい環境において経験したこと学んだこと、私の一生のうち一番強烈な印象として残っています。平和の有難さに感謝し私の卓話を終わります。有難うございます。

ニコニコ

狩野勉会長

ガバナー公式訪問合同例会が無事終了しました。ご協力ありがとうございました。

佐藤學而君

長寿の祝い有難うございました。

網中吉郎君

山梨の方に今シーズン最後の紅葉を見てきました。

小口弘之君

銚子で初めてのボージョーレーヌーヴォーパーティが開催できました。ご協力有難うございました。

山本幸男君

例会には欠席ばかりですが、先日テレビ出演してしまいました。近いうちには皆様にお目にかかるようにしたいと思っていますので、宜しくお願いします。

『友』インターネット速報

2009年12月1日 No. 407

ベルリンの壁崩壊を共に体験したロータリー

1989年11月のある夜、西ベルリンのヒルトンホテルのロビーは、国際研究会に出席した何百人ものロータリアンがホスト・ホスピタリティーの行事に向かおうとタクシーをまわっていました。しかし、タクシーは一台も現れません。ようやくホテルの従業員が現れ、マイクでこのように案内されました。「皆さまにはしばらくおまちいただかなければなりません。通りが、東ベルリン市民であふれかえりふさがっています。(ブランデンブルク) 門が開放され、壁が取り壊されたのです」

20年前の11月に崩壊したベルリンの壁は、ヨーロッパの政変の歴史的な始まりを象徴するものでしたが、これはロータリーにとっても新たな時代の幕開けを意味するものでした。今日、ベルリンの壁崩壊は、東ヨーロッパで復活したロータリーの出発点と広く考えられています。

オーストリアとドイツのガバナーは、ロータリーを旧東ドイツのほかにも、チェコスロバキアなど東欧に拡大していく計画について話し合いました。ま

た、クラブと地区は、旧東ドイツの地域社会を対象としたセミナーを開始しました。

1995年の秋までに、再統一されたドイツに91の新クラブが結成され、ロータリーは、瞬く間に東ヨーロッパに広がっていきました。全文は、国際ロータリーのウェブサイトをご覧ください。

http://www.rotary.org/ja/MediaAndNews/News/Pages/091113_news_berlinwall.aspx

銚子駅前花植え

日時：H21年11月25日(水)



狩野会長と
銚子RCの皆さん

前回の例会(12/1)報告

点 鐘 狩野 勉 会長

出席報告

会員総数	35 名	出席規定除外数	8 名
出席者	20 名	出席率	74.07 %
11月17日		確定出席率	77.78 %

来訪ロータリアン

加川嘉一郎君 大岩將道君 高島正行君(銚子RC)

欠席者 5名

メイクアップ なし

スモールコインBOX

小 計 ￥ 2,200-

累 計 ￥ 34,750-

ニコニコBOX

小 計 ￥ 28,100-

累 計 ￥ 295,800-

銚子東ロータリー・クラブ

銚子市三軒町19番地の4 銚子商工会館内 TEL0479(23)0750 FAX0479(25)8789

メール c-higashirc@tcs-net.ne.jp URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~rc>

例会日時及会場 毎週火曜日 12時30分点鐘 銚子商工会館5階大会議室

会長 狩野 勉 副会長 杉浦 武 幹事 吉田孝至

R. I 第2790地区

クラブ広報・会報委員会 澤井 博・澤田武男・大内恭平・山本幸男・杉浦 武

表紙題字 網中喜一郎初代会長

ほととぎす 銚子は国の とつぱずれ

古 帳 庵

江戸小網町の豪商鈴木金兵衛夫婦(古帳庵 古帳女)が銚子に遊んだときに詠んだもので、この碑は圓福(円福)寺に現存する。